

令和5年度 学校評価報告書（浜田高等学校 通信制課程）

		自己評価				学校関係者評価		次年度への改善策	
※評価基準(4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い / A:4.0～、B:3.0～、C:2.0～) ⇒		R5末	R5中	R4末	評価	意見・要望・改善案	評価		コメント
【1】 学校運営	1	重点目標に基づいた教育活動ができるよう分掌への働きかけは適切であったか	3.3	3.3	3.4	A	・中間評価では、 unnecessaryな業務を軽減し、働き方改革をとの意見もあったが、年度末評価ではご意見がなかった。次年度は、学校アシスタントの更なる活用も含めて、組織内の業務分担について検討していきたい。	A	・ unnecessaryな業務の軽減や働き方改革というコメントから、学校全体で教員数は十分なのか気になった。人の配置が大前提である。不登校や多様な生徒が増えている。 ・ 定時通信のような学校こそ人手は必要である。色々な場面で声をあげ人員確保ができるよう支援したい。
	2	教職員の教育活動に対する取り組みへの協力は適切であったか	3.4	3.4	3.5	A			
	3	運営委員会・職員会議・課程会議の運営は適切であったか	3.4	3.4	3.4	A			
	4	校務分掌・各種委員会どうしの連携は適切であったか	3.1	3.3	3.1	A			
	5	校内組織の編成は適切であったか	3.3	3.3	3.3	A			
【2】 総務	6	年間行事予定の設定および全日制・定時制との連携が適切であったか	3.4	3.4	3.3	A	各分掌との連絡調整に努め、相互理解による学校行事の円滑な運営→今の取り組みを今後とも継続していきたい。 危機管理意識の高揚→防災学習会では松江気象台からの講師に専門的な講演をいただいて知識を深めることができた。防災学習会の参加者の増加に努めたい。 円滑な情報処理と適正な情報管理及び発信→HP更新の講習・呼びかけなどにより心がけていきたい。新入生・未登録者へのアプリ登録呼びかけに努める。	A	・ ホームページの充実については中間評価より改善が見られたようである。
	7	学校行事の円滑な運営が行えたか	3.3	3.5	3.4	A			
	8	PTAおよび各種外部団体(奨学金関係を含む)との連携が適切であったか	3.3	3.3	3.3	A			
	9	危機管理体制の整備が適切であったか	3.3	3.3	3.2	A			
	10	ホームページへの記事掲載が充実していたか	3.1	2.9	3.1	A			
【3】 教務	11	生徒の学習システムの理解につながる情報発信が充実していたか	3.4	3.3	3.3	A	計画的な学習に向けての取り組み→各教科でレポート作成のヒントになるプリントなどをアップしてもらうなど、Google Classroomの活用を進める。 学習内容の充実→今年度特定教科でレポートのミスが多発し、生徒保護者アンケートで複数の指摘を受けた。該当教科のレポートを点検するとともに再発防止に努めたい。レポート振り返り部分の設問や様式などについては、今後も研修や課程会議で情報交換を行い、より良いものにしていきたい。 協力校生徒への支援充実→協力校講師の先生方には引き続きスクーリングの記録をお願いする。協力校講師の先生方にスクーリングの様子が分かるよう、今年度の記録表を入れておく。	B	・ 生徒の学習への取組を阻害する、また学校教育への不信を抱かせることのないようレポートについてはしっかり点検をお願いしたい。特定の教科のみとはいえ学習に支障が出たのであれば、高い評価はできない。再発防止にしっかりと努めていただきたい。 ・ Google Classroomの効率的活用は今後重要になってくる。進めていただきたい。
	12	レポートの管理、スクーリングの運営は適切であったか。	3.1	3.0	3.5	A			
	13	協力校との連携が適切であったか	3.3	3.2	3.3	A			
	14	教室および図書学習室の管理が適切であったか	3.3	3.3	3.2	A			
【4】 生徒	15	教職員間の共通理解に基づく生徒指導の徹底	3.3	3.1	3.4	A	基本的生活習慣の確立→挨拶に関する生徒の評価が低い。前年度も低かったが、教員側からの働きかけを意識していきたい。 生徒理解と指導・支援の充実→終礼、課程会議での生徒に関する情報交換や適宜行われるケース会議などで生徒支援のヒントをつかめるようにすることを引き続き意識していきたい。 生徒会活動や各種行事の充実→前例にとらわれずに柔軟に生徒会行事を企画できるように生徒会執行部生徒たちと協力していきたい。協力校生徒も参加しやすいように、日程や実施場所なども検討していきたい。	A	・ 生徒保護者アンケートの結果も一緒に確認する必要があった。教員の視点と生徒保護者の視点は一致しない場合がある。 ・ 今後とも生徒支援について協力できるところはしっかりと協力して進めさせてもらえればと思っている。
	16	担任・保健部・保護者等との連携による生徒への支援	3.3	3.2	3.4	A			
	17	生徒会を中心とした特別活動が充実していたか	3.2	3.2	3.2	A			
	18	人権・同和教育は計画的に推進されたか(推進委、たより、教職員研修等)	3.3	3.2	3.3	A			
【5】 進路	19	進路実現支援を目的とする各種行事の立案と実施が適切であったか	3.3	3.4	3.4	A	他者と協働し地域社会に貢献できる人材の育成→外部講師を活用した講座やガイダンスを予定通り実施できた。事後指導等の支援は必要である。 生徒一人一人が志を立て志を遂げるために努力する主体的な進路実現の支援→生徒が将来について考えるきっかけとしての情報提供を継続し、それが進路実現につながっていくような指導計画を充実させたい。地域巡検についても生徒のキャリア形成につながるよう振り返りシートやキャリアパスポートを工夫したい。進路資料については、生徒が活用しやすいように図書室の進路コーナーを充実させたい。(可能であれば、自由に持ち帰ることのできるパンフレット類を置きたい。) 生徒一人一人を大切にしたい多様な進路希望に対応する進路指導→大学進学の可能性のある生徒について、模試を受けるよう勧めたり、個別に働きかけたりすることで入試に向けて時間をかけて準備できるようにする。	A	・ 通信制の生徒が、他者と協働する機会の創出はその後の社会生活のためにも重要である。 ・ 図書館ボランティアに参加してくれた生徒がいたが、そういった活動が進路等に結びつけてくれるとよい。 ・ 進路情報の提供については、ホームページの有効活用を行うとよい。
	20	進路部作成資料の充実と生徒が閲覧しやすい環境の整備が適切に行われたか	3.4	3.3	3.2	A			
	21	他機関・団体からの情報収集と説明会等を通しての情報発信が適切に行われたか	3.3	3.4	3.4	A			
	22	年間を通じた外部講師の活用による関係機関との連携強化が適切に行われたか	3.3	3.5	3.3	A			
【6】 保健	22	健康観察・健康診断等による健康実態の把握、保健指導・健康教育の充実が行われたか	3.4	3.4	3.4	A	生徒の興味関心を引き出し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導→次年度も計画的に外部講師等を活用した心と体の健康講座の実施に努める。次年度は6月に「性に関する指導」、10月に「食育」、12月に「薬物に関する指導(2年目)」を定時制・通信制共催で行うことを予定している。 生徒が自分の健康状態を把握するための支援→次年度も引き続き、保健調査・健康観察を行い、生徒の健康状態の把握に努め、受診することの大切さを伝えたい。 相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり→今後もSC、SSW、KS(教育相談員)をより有効的に活用できるよう配置時間増を要望したい。 教員間の情報共有を今後も心がけたい。	A	・ 養護教諭の配置はどうなっているのか。→ 一定通で1名ずつ。定時は常勤で、通信は今年度まで短時間で週四日であったが、来年度は常勤となる。 ・ 来年度、通信制についても常勤の養護助教諭が付くのはよかった。 ・ 生徒に対する更なる相談支援体制の充実を図っていただきたい。
	23	校内外の関係者との連携による支援を必要とする生徒への相談活動等が適切であったか	3.3	3.4	3.4	A			
	24	安全点検の実施と生活環境の点検・充実が適切に行われたか	3.3	3.5	3.4	A			
	26	教職員研修(衛生委員会・心肺蘇生法等)が充実して行われたか	3.3	3.3	3.3	A			
	27	(特支)生徒の実態に応じた支援や、教職員研修が充実して行われたか	3.3	3.3	3.2	A			
	28	(特支)関係諸機関との情報交換・連携、校内での情報共有が適切に行われたか	3.3	3.4	3.4	A			
【8】 ルーム	29	生徒の状況の把握と支援が適切であったか	3.3	3.3	3.2	A	今年度の通信制卒業生は57名で過去最高となった。学習状況の把握や生徒情報の共有等が上手くいったためでもある。また保健室を中心に、困難を抱えた生徒・保護者への支援が丁寧に行われていたこともプラスに働いた。	A	・ 卒業生数が過去最高となったことは評価できる。
	30	家庭との連携が適切であったか	3.3	3.3	3.2	A			
	31	学習進捗状況を基にした学習活動への支援が適切であったか	3.4	3.4	3.4	A			
	32	生徒の状況を把握するための情報交換が充実して行われたか	3.3	3.4	3.4	A			
	33	各分掌との連携が適切であったか	3.3	3.2	3.3	A			
【9】 事務	33	効率的・効果的な予算執行	3.4	3.6	3.4	A	会計処理等迅速かつ丁寧にやっていたき助かっている。	A	特になし
	34	迅速・的確な施設設備の補修・保全と教育環境の整備	3.5	3.6	3.4	A			
	35	事務部と教員の円滑な連絡・調整	3.4	3.7	3.4	A			